

令和4年度いわての地域国際化人材育成事業 イーハトーブの森～英語で未来を拓くワークショップ～ FAQ

令和4年4月5日
岩手県教育委員会事務局学校教育室

【イーハトーブの森～英語で未来を拓くワークショップ～（以下「ワークショップ」という）の種類】

Q1：ワークショップのベーシックコースとアドバンスコースは何が違うのか。

A1：目的や参加対象者等が異なります。目的別で分けておりますので、それぞれの児童生徒が目標とする英語力と学齢に応じて応募してください。

	ベーシックコース	アドバンスコース
目的	英語力向上、広い視野を持って岩手と世界をつなぐ人材（グローバル人材）及び国際的な視点を持って地域で活躍する人材（グローバル人材）の育成	英語力向上、広い視野を持って岩手と世界をつなぐ人材（グローバル人材）及び国際的な視点を持って地域で活躍する人材（グローバル人材）の育成
対象者	小学5年生～高校3年生	中学1年生～高校3年生
目標とする英語力	CEFR A1（英検3級程度）レベル程度の英語力を目標	CEFR A2（英検準2級程度）レベル以上の英語力を目標
日程	日帰り（10:00～16:00を予定）	日帰り（10:00～16:00を予定）
求める資質	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度がある者	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度がある者

注意点として、2種類のワークショップであること、内容が目標とする英語力に合わせたものとなっていること、日程がすべて日帰り開催となっていることです。

【外部検定試験受験の必要性】

Q2：それぞれのワークショップで、目標とする英語力が示されているが、英語の外部検定試験を受験する予定がなくても参加可能か。

A2：参加可能です。研修内容は、それぞれのワークショップで目標とする英語力を目指したものとなりますが、ワークショップ参加によって外部検定試験の受験を求めるものではありません。

ただ、外部検定試験を受験した場合は、今後の参考のために、国際関連イベント参加の事後報告（Q8及びA8参照）の際に報告をお願いします。

なお、ワークショップ参加をきっかけに、外部検定試験に挑戦することもお勧めです。

【応募方法】

Q3：ワークショップの種類や日程、会場が異なるようだが、申込みはどのようにすればいいのか。

A3：各日程・会場ごとそれぞれ別に、様式1「イーハトーブの森～英語で未来を拓くワークショップ～参加申込書」を岩手県教育委員会の担当者宛て直接提出してください。学校から申し込む必要はありません。

ワークショップの申込みについては、児童生徒の所属学校所在地や児童生徒の居住地に関わらず、参加対象の条件に合う限り、どのワークショップにも申し込むことが可能です。

なお、提出期限の目処としては、会場の準備の都合上、それぞれのワークショップの3週間ほど前です。詳細は「イーハトーブの森～英語で未来を拓くワークショップ～募集要領」で確認してください。

【県での選考】

Q 4 : ワークショップに応募した児童生徒は必ず参加できるのか。

A 4 : 応募した児童生徒全員が必ず参加できるとは限りません。

会場により参加人数の上限がありますので、参加可能人数を越える応募がある場合は、県で選考を行う予定です。選考については、提出された書類をもとに、申込理由、過去の参加状況、学校ごとのバランス、地域バランスなど、総合的に判断します。選考結果については、該当ワークショップ実施の約2週間前を目処に応募者に直接通知します。

なお、選外となった場合でも、他のワークショップへの応募が可能です。

【ワークショップの参加回数】

Q 5 : ワークショップの参加回数に制限があるのか。

A 5 : 別のコースの応募は可能です（例えば、ベーシックコースに参加した生徒は、アドバンストコースにも参加できます）。

また、過去にイーハトーブ・キャンプに参加した児童生徒でも、過去と内容が異なることから、本年度も応募が可能です。応募者多数となり選考の場合でも、過去に参加については問いません。

【交通手段】

Q 6 : ワークショップ会場までの交通手段はどうすればよいのか。

A 6 : 基本的に、現地集合現地解散でお願いします。交通手段は各自で用意願います。

【保険について】

Q 7 : 参加生徒は傷害保険に入るとのことだが、保険料はいくらか。

A 7 : 一人当たり1回のワークショップで、200円くらいと考えております。なお、詳細は各ワークショップの実施要項通知時にお知らせします。

【事後の国際関連イベント参加】

Q 8 : ワークショップの参加者は、研修修了後に国際関連イベントに参加するとのことだが、どういうことか。

A 8 : ワークショップの目的が、岩手における地域国際化に貢献できる人材の育成を目指すものであることから、ワークショップ参加を第一歩目としたとき、第二歩目として、国際理解・国際貢献等の行動を起こすことをねらいとし、参加を義務付けるものです。

国際関連イベントとは、例えば公益財団法人岩手県国際交流協会主催「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」や、市町村国際交流協会主催の「国際フェア」、市町村主催のイングリッシュ・キャンプ、国際関連の各種ボランティア活動などがあります。国際関連イベント

参加以外にも、参加者自身で自主的に国際理解・国際貢献等に関する活動をすることも認められます。(例えば、ユニセフ募金や近隣在住外国人に対する手伝い、国際関連テーマの作文投稿 等)

報告については、各ワークショップの実施要項送付の際に報告様式をつけますので、当該年度末までに1回以上参加(ワークショップ参加の前後を問わない)し、その報告を県教委研修担当者宛て送付いただきます。詳細につきましては、別途案内します。

【新型コロナウイルス感染症】

Q9： 新型コロナウイルス感染症が収束していない中で、どのようにワークショップを開催するのか。

A9： 実施にあたり、受付時の体温チェック、手指消毒の励行、休憩時間の換気、使用箇所の消毒等、できる限りの感染対策を行います。参加者には次の御協力をお願いします。

- ①マスクを着用し、咳エチケットを励行する。
- ②適宜手洗いや手指消毒に努める。
- ③換気による室温変化を考慮し、必要に応じて衣服等で調整できるようにする。
- ④発熱などの風邪の症状がある場合は、研修を欠席する。
- ⑤当日の朝、検温を行ってから参加する。発熱等の症状が見られるときは欠席する。
- ⑥研修開始前2週間以内に、感染の可能性が高い状況にあったと判断される場合は、事前に研修担当者に連絡する。

【新型コロナウイルス感染症に係る実施形態変更】

Q10： 新型コロナウイルス感染症の影響で、ワークショップの中止もあるのか。

A10： 参加者の安全・安心を最優先とすることから、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止や延期、実施内容の変更がある場合もあります。その際は、研修担当者から参加申込者に対して連絡をします。実施形態変更に伴い、参加が難しくなった場合はキャンセル可能ですので、研修担当者へ直接連絡ください。